

フェアな会社で 働きたい



上映時間25分

DVD 本体価格 66,000円(税抜)
[C#3539]

字幕・副音声版付き



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

フェアな会社で働きたい

企画の狙い

企業がさまざまなステークホルダーの人権を尊重することは、現代の企業にとって必須のことであり、またそのための社員教育も重要になっています。しかし、社員が、人権啓発について、具体的に自分のこととしてとらえることは難しい事でもあります。このDVDでは、人事部の新入社員の体験をドラマにして、公正な採用選考をはじめとする企業における人権のあり方について学ぶ教材として制作しました。

内容

人事部新人の中谷亜衣が、部長から課題を与えられた。採用選考の質問のあり方について自分で考えるという難しい課題だ。中谷は人権推進担当の谷川に相談する。谷川は、人権のヒントをつかむべく、一緒に社内を回ることを提案する。

○ハラスメントを生まない気づき ①セクシュアルハラスメント

結婚していて子どもがいない女性社員・阿部に、先輩社員が、「出産は人間を成長させるわよ」と語っている。中谷は、それを聞いて違和感を感じるが…。



○ハラスメントを生まない気づき ②パワーハラスメント

新人社員・小平を上司が叱っている。客に謝罪するのに面会や電話ではなく、メールですませてしまったからだ。2人の話を聞くうち、双方向のコミュニケーションの大切さについて、中谷たちは改めて気づきを得る。

○その人自身を知る ①外国人

インドネシア人社員・アスカルが上司から言われた「お客様は神様だ」という言葉に納得できないと言う。宗教や文化の違いを理解することの重要性を中谷たちも学ぶ。



○その人自身を知る ②障害者

視覚障害者である社員の細田に対し、異動して間もない真野は何かと世話を焼く。相手をよく知らないまま、やってもらわなくても良いことまで手伝い、細田には逆に不快になっている状況だが…。

○誰もが働きやすいために

女性活躍の象徴のような中島は中谷の憧れの的。子育て中も仕事中心で時短制度も使わないような社員だが、親の介護問題が出てきたと語る中島に中谷は意外なことを言う。



○いつもフェア(公正)であることで

中谷は、人権尊重の基本に「フェア」があることに気づく。「公正さ」である。働く皆が、お互いの立場を尊重して、会社全体としても社会に対して常に公正・フェアであること。そのことが会社の未来を切り開いていくのだ。

プロデューサー 中鉢裕幸
新井英夫
脚本・監督 前田和男
撮影 松丸武彦
企画協力 殿原鉄也

制作協力 株式会社 映広
企画・制作 東映株式会社 教育映像部